

経営比較分析表（平成28年度決算）

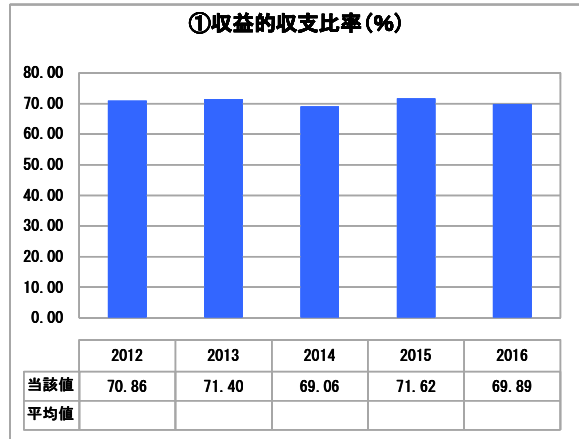
静岡県 袋井市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.31	84.04	1,982

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
87,603	108.33	808.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,653	1.32	3,525.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



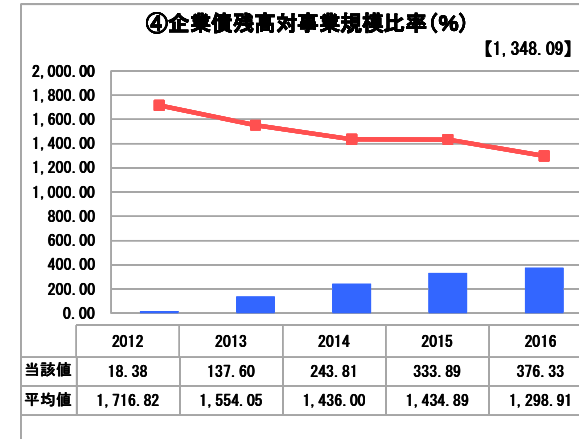
「単年度の収支」



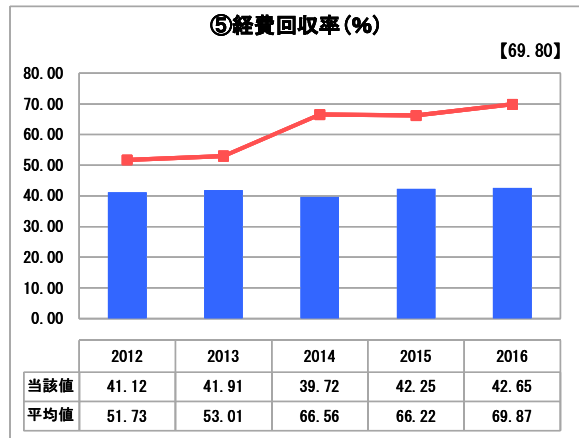
「累積欠損」



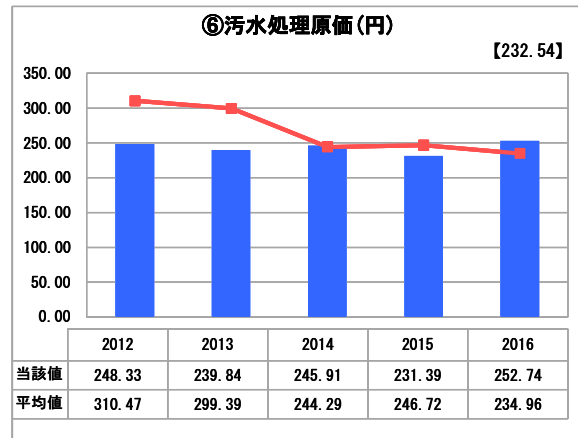
「支払能力」



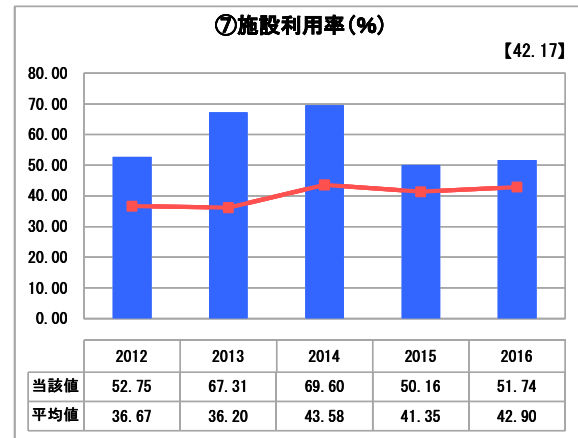
「債務残高」



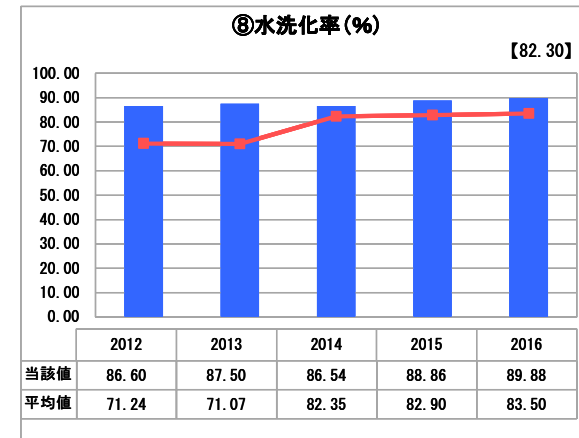
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

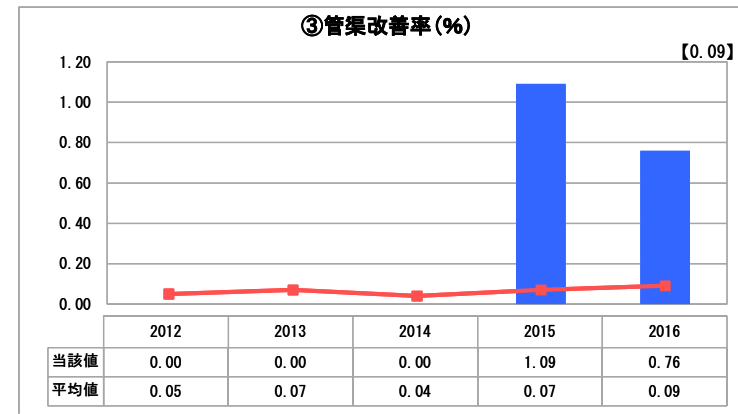
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①については、事業開始後10年間の多額な建設費を地方債で賄ったため、その元利償還金が支出全体の5割以上を占めており、使用料の料金改定や下水道整備の進捗による有収水量の増により使用料が増加したものの、修繕等の費用が上回ったため、前年度に比べ収支比率が約1.7ポイント減少した。
 ④については、類似団体と比べ非常に低い状況であるが、事業規模自体が小さいため、各年度の公費負担額により影響を受けやすい状態である。
 ⑤については、汚水処理費の財源の6割以上を一般会計からの繰入金で賄っていること、平成28年度に使用料の料金改定を行い値上げしたものの、利用者の負担に配慮して低く設定していることから、類似団体と比べて非常に低い水準にある。
 ⑥については、事業の進捗に伴う有収水量の微増により、改善傾向にあり、類似団体とほぼ同じ水準である。
 ⑦については、晴天時一日平均処理水量の増加により微増し、類似団体と比べ利用率が高くなっている。
 ⑧については、戸別訪問や工事前説明会等における接続推進活動の継続により改善傾向にあり、類似団体よりも高い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

事業計画に基づき整備を進めている。事業規模が小さく、毎年の整備延長もわずかであるため、指標への影響が大きくなっている。今後も計画に沿って整備を進めていく。

全体総括

事業整備率が低く、使用料収入で賄うべき汚水処理費（公費負担分を除く）を一般会計繰入金に依存している状況が続いている。整備区域や使用料の料金体系を定期的に見直し、効率的な事業経営を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。